

事業番号	16 01 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	安全・安心な社会づくりの推進事業	部局	警察本部	課・室	警務部・生活安全部・地域部・刑事部・警備部	
		実施期間	S29 ~	E-mail	police-keimu @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

近年、県内の刑法犯認知件数は減少傾向にあるものの、高齢者を狙った電話でお金詐欺（特殊詐欺）、児童虐待・ストーカー・DV等の人身安全関連事案が高水準で推移するなど、県民に不安を与える犯罪防止対策が課題となっているほか、社会を覆う不安感につけ込む悪質な犯罪の発生やサイバー空間における脅威が深刻化している。

2 事業目的

地域住民のニーズに応え、地域社会と一体となった各種活動を展開し、県民が犯罪の被害に遭うことなく、また、犯罪の被害に遭う不安を抱くことのない安全・安心を実感できる社会づくりを推進する。

3 事業目的を達成するための取組

①電話でお金詐欺（特殊詐欺）被害防止を始めとした犯罪防止対策

- 電話でお金詐欺（特殊詐欺）の被害防止のため、産・学・官共同によるAIを活用した電話でお金詐欺対策事業、被害者等への広報啓発活動の推進、関係機関等との連携による水際対策の強化等を実施
- 自主防犯ボランティアの育成・支援を行うため、防犯対策事業を行う長野県防犯協会連合会に補助金を交付
- 街頭防犯カメラの設置を促進するため、「長野県警察街頭防犯カメラ設置促進事業」を実施

②少年の非行防止・健全育成活動

- 少年による電話でお金詐欺（特殊詐欺）への加担防止や大麻等の薬物乱用防止のための非行防止教室等の実施
- 「こどもを守る安心の家」表示板の整備や子ども安全対策のための広報啓発活動の推進

③サイバー犯罪防止対策

- 県民のサイバーセキュリティ意識を向上させるため、広報啓発資料「サイバーだより」を毎月発行
- 中小企業のサイバーセキュリティ対策を普及・強化するため、サイバーセキュリティ対策セミナーを開催
- 自主的なサイバー犯罪防止活動を行うサイバーボランティアを拡大して活動を活性化



4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	指標なし										
②											
③											

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-6①	県民生活の安全確保	刑法犯認知件数	件	2021 (R3)	5,959	2022 (R4)	6,635	2023 (R5)	7,769	2027 (R9)	6,635

6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R5年度	112,561	3,222,129	60,840	3,395,530		3,074,691	-
R4年度	32,351	3,844,578	△ 3,316	3,873,613		3,585,338	-
R3年度	193,169	3,820,736	△ 29,817	3,984,088		3,761,810	-

事業番号	16 01 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	安全・安心な社会づくりの推進事業		部局	警察本部	課・室	警務部・生活安全部・地域部・刑事部・警備部

7 主な取組実績と成果

①電話でお金詐欺（特殊詐欺）被害防止を始めとした犯罪防止対策

- 電話でお金詐欺（特殊詐欺）被害防止対策
 - ・ A I を活用した電話対策を推進し、県下約700世帯にA I により詐欺電話を判別する機能を有する特殊詐欺対策アダプタを設置した。
 - ・ 著名人を起用した広報啓発活動等を推進した。
 - ・ 関係機関等との連携による水際対策を強化した。
- 犯罪防止対策
 - ・ 犯罪抑止効果が高い街頭防犯カメラの設置促進のため、長野県警察街頭防犯カメラ設置促進事業を推進し、申請のあった自治組織等14団体に対して補助金を交付し、県下に38台の街頭防犯カメラを設置した。
 - ・ 防犯意識の高揚を図るため、自動車盗、車上ねらいなど、県民の身近で発生する犯罪手口や多発傾向にある犯罪について、防犯速報や啓発チラシの作成及び配布、（公社）長野県防犯協会連合会と連携した小中学生を対象とした防犯ポスターコンクールの開催、各職域団体との連携による防犯活動の実施、ボランティアの交流会の開催、地域安全運動や年末特別警戒の実施等、各種活動を推進した。



電話でお金詐欺被害防止啓発用CM



長野県警察街頭防犯カメラ設置促進事業

②少年の非行防止・健全育成活動

- ・ 学校等と連携して、少年による電話でお金詐欺（特殊詐欺）への加担や薬物乱用の防止、SNSに起因する犯罪被害防止等に係る非行防止教室等を939回実施し、少年の規範意識及び防犯意識の向上を図った。
- ・ 子どもを守る安心の家の表示板を整備したほか、企業等の協力を得て子ども安全対策のための広報啓発活動を実施した。



少年院における非行防止教室実施状況

③サイバー犯罪防止対策

- ・ サイバー犯罪、サイバーテロ捜査用資機材を整備した。
- ・ 長野県警察サイバー犯罪対策アドバイザーによる警察官を対象とした捜査能力向上のための教養を実施した。



長野県警察サイバー犯罪対策アドバイザー委嘱式

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	指標なし	R4年度推移	R5年度推移	達成状況
指標②		R4年度推移	R5年度推移	達成状況
指標③		R4年度推移	R5年度推移	達成状況

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

高齢者を中心に多額の被害が発生している電話でお金詐欺（特殊詐欺）や児童虐待・ストーカー、DV等の人身安全関連事案が高水準で推移しているほか、サイバー犯罪、サイバー攻撃は悪質・巧妙化の一途をたどるなど、県民が安全と安心を実感できるためには、依然として課題が多い状況にある。

(2) 事業改善の方策

電話でお金詐欺（特殊詐欺）を始めとする県民に不安を与える犯罪を防止し、県民が犯罪の被害に遭うことのない安全・安心な社会づくりのため、社会の変化が治安情勢に与える影響を捉え、事態に即応する諸施策及び地域住民や関係機関・団体と連携した各種活動による総合的な犯罪防止対策を推進する。

事業番号	16 01 01	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	安全・安心な社会づくりの推進事業		部局	警察本部	課・室 警務部・生活安全部・地域部・刑事部・警備部

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	生活安全対策事業		19,656 千円	24,064 千円	22,344 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	生活安全対策事業	直接 委託 補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・詐欺電話判別 A I 機能付きアダプタ設置補助事業の推進 ・大学との電話でお金詐欺防止対策共同研究の実施 ・特殊詐欺被害防止対策業務委託により、テレビ放送局と連携して、電話でお金詐欺（特殊詐欺）被害防止用 C M・特集番組を制作 ・防犯対策事業を行う長野県防犯協会連合会に補助金交付 ・長野県警察街頭防犯カメラ設置促進事業の推進 ・犯罪被害防止に係る各種広報啓発活動費 ・ストーカー・D V 被害者の一時避難場所の確保等 <ul style="list-style-type: none"> ・犯罪使用電話に連続架電する自動架電システムを337回線、約462万回運用し、無力化を図った。 ・特殊詐欺抑止対策のため、民間放送局と連携したキャンペーンを2回実施。 ・長野県防犯協会連合会の自主防犯ボランティア育成・支援事業に対する補助金を活用し、防犯ポスターコンクールを共催、同コンクールの入賞作品を活用した防犯ポスター800枚、防犯カレンダー約1,600枚及び年末特別警戒ポスター約2,700枚を作成・掲示したほか、各種防犯会議等を開催。 ・長野県警察街頭防犯カメラ設置促進事業を推進し、申請のあった自治組織等14団体に対して補助金を交付し、街頭防犯カメラを38台設置。 ・県警メール配信システムを活用して、ライポくん安心メールを1,522回、ヤフー防災速報を247回配信。 ・ストーカー事犯に係る警告件数は12件。（R5年中） ・ストーカー・D V 被害者50人に対して一時避難場所を確保。（R5年度） 		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	子ども安全総合対策事業		30,855 千円	28,893 千円	30,559 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	子ども安全総合対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・学校等と連携した少年の非行防止教室、安全対策活動等を行うスクールサポーターの経費 ・少年警察ボランティア等の活動に要する経費 ・少年の非行防止・健全育成活動等に要する経費 ・少年の福祉を害する犯罪等の取締り経費 ・少年の規範意識向上活動及び立ち直り支援活動に要する経費 <ul style="list-style-type: none"> ・学校等と連携し、スクールサポーター等による少年の非行防止教室等を939回実施。（R5年度） ・少年の規範意識向上のため、少年警察ボランティア等の関係機関・団体と協働して、少年の非行防止・健全育成活動を実施。 ・少年の福祉を害する犯罪等を積極的に検挙。（R5年中検挙人員61人） 		

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	生活環境犯罪対策事業	15,320 千円	16,532 千円	18,102 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	生活環境犯罪対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・環境犯罪捜査用資機材の整備、検査手数料等 ・環境犯罪捜査用資機材を整備。 	
2	サイバー犯罪等対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・サイバー犯罪、サイバーテロ捜査用資機材の整備、捜査員育成に要する経費 ・サイバーボランティア、サイバー犯罪対策アドバイザーの委嘱と活動に要する経費 ・サイバー犯罪、サイバーテロ捜査用資機材を整備。 ・警察官を対象とした捜査能力向上のための教養を1回実施。 	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	猟銃等講習関係事業	4,057 千円	4,142 千円	4,422 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	猟銃等講習関係事業	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・所持許可者に対する銃砲刀剣類一斉検査に要する経費 ・廃銃処理に要する経費 ・初心者講習、経験者講習、射撃指導員講習、技能講習、技能検定に要する経費 ・所持許可者に対する一斉検査を実施。 ・廃銃処理を実施。 ・初心者講習（猟銃等講習6回）、経験者講習（猟銃等講習30回）、射撃指導員講習、技能講習を実施。 ・R5年中は技能検定の申請者はいなかった。 	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
5	警備業講習関係事業	3,848 千円	3,373 千円	3,355 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	警備業講習関係事業	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・施設警備（1・2級）、交通誘導警備（1・2級）、雑踏警備（1・2級）、貴重品運搬警備（1・2級）、等の検定に要する経費 ・警備員指導教育責任者資格者取得（新規・追加）講習、機械警備業務管理者取得講習等に要する経費 ・交通誘導警備（1・2級）、雑踏警備（2級）の学科検定を合計3回実施。 ・警備員指導教育責任者（新規・追加）講習、機械警備業務管理者講習を合計9回実施。 	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
6	風俗環境浄化対策委託事業	7,237 千円	7,187 千円	7,313 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	風俗環境浄化対策委託事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・風俗営業所の管理者に対する講習に要する経費 ・新規風俗営業許可申請等に係る各種基準の調査 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・風俗営業所の管理者に対する講習を330名に対し33回実施。 ・新規風俗営業許可申請等に係る各種基準の調査を124件実施。 	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
7	犯罪捜査活動費	248,943 千円	285,340 千円	264,638 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	犯罪捜査活動費	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・捜査技能伝承官を配置し、後継者育成、捜査力の向上と現場執行力を強化 ・犯罪の早期解決に必要な捜査用システム、装備資機材の整備等 ・犯罪鑑識用資機材、犯罪立証のための機材等の整備 ・検視業務に要する資機材、検査手数料、死体調査等立会謝金等 	
		委託	<ul style="list-style-type: none"> ・捜査技能伝承官による実務及び捜査同行指導を実施し、捜査員の能力向上と現場執行力の強化を図った。（捜査技能伝承官による捜査実務指導373回・延べ395人、教養訓練7回・延べ175人） ・画像分析装置を11式整備。 ・捜査用カメラを6式整備。 ・犯罪鑑識用資機材、犯罪立証のため新たにLEDライトなどの機材等を購入整備、被疑者写真用カラープリンターのリースを開始。 ・CT画像等各種検査手数料及び検視立会い医師に対する死体調査等立会謝金等の経費を執行。 ・検視業務に要する資機材の整備及び各種経費を執行。 	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
8	組織犯罪対策事業	50,861 千円	42,543 千円	43,394 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	組織犯罪対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・通訳謝金、語学研修受講等 ・暴力団対策用システム、装備資機材の整備等 	
		委託	<ul style="list-style-type: none"> ・責任者講習委託料、保護対策用経費 ・公益財団法人長野県暴力団追放県民センターへの補助金 	
		補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・事件、事故捜査等に伴う通訳謝金を支払うとともに、部外講師による語学研修を8回実施。 ・暴力団対策用システム、装備資機材等を整備。 ・保護対策等のため、責任者講習を61回実施。 ・公益財団法人長野県暴力団追放県民センターへの補助金を適正に運用。 	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
9	科学捜査力充実事業	134,366 千円	131,212 千円	133,259 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	科学捜査力充実事業	直接 負担金	<ul style="list-style-type: none"> ・DNA型鑑定試薬、危険ドラッグ試薬等消耗品の整備 ・鑑定用機器のリース料、保守点検、部品交換等に要する経費 ・鑑定技術向上のための各種学会への参加経費 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・DNA型鑑定試薬、危険ドラッグ標準品等消耗品を用い、鑑定を実施。 ・鑑定用機器の保守点検、部品交換により、鑑定機器の維持管理を実施。 ・鑑定能力向上、最新知見取得のため17学会の学術総会等に参加。 	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
10	通信指令システム維持管理経費	230,013 千円	457,610 千円	471,149 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	通信指令システム維持管理経費	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・通信指令システム等の維持管理経費 ・高度警察情報通信基盤システム等の回線料 	
			110番通報総受理件数111,929件（前年比+3,724件）	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
11	精強な第一線警察の構築事業	16,546 千円	18,267 千円	17,345 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	優秀な人材確保	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・警察官募集広報活動経費、試験会場経費等 ・インターネット広告を活用した情報発信の強化 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・長野、松本、東京、愛知の4会場で採用試験を実施。 ・LINEの有償プランを契約し、受験者に対するタイムリーかつ効果的なメッセージを配信。 ・採用パンフレットの作成を公募型プロポーザル方式により行い、警察業務の魅力を最大限伝えられるように一新。 ・採用サイトの大規模改修を行い、警察業務の魅力や福利厚生等の情報をより分かりやすく掲載し、利便性を向上。 ・オンライン説明会等の非対面方式による情報発信力を強化。 	
			※令和5年度オンライン説明会24回開催。	
			※令和5年度警察官採用試験636名（前年度比△166名・△20.7%）、競争倍率3.0倍。	
2	警察官育成・教養事業	直接 負担金	<ul style="list-style-type: none"> ・部外講師等による教養 ・訓練用機器のリース、術科訓練用消耗品の整備、各種大会参加への負担金 ・緊急自動車運転技能向上のための訓練経費 	
			部外講師等による教養を48回実施。	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
12	訪日外国人の安全・安心確保事業	5,025 千円	3,500 千円	1,364 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	訪日外国人の安全・安心確保事業	負担金	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語コールセンター負担金 利用件数831件（前年比+369件）	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
13	航空機運用経費	341,515 千円	407,617 千円	330,108 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	航空機運用経費	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機運航維持管理に要する修繕料、燃料費、消耗品費、特別点検料等の経費 ・整備士資格取得経費 ・ヘリコプターテレビシステム保守点検経費 整備士資格取得1名、航空機飛行時間612時間30分（2機合計）	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
14	犯罪被害者支援事業	6,627 千円	7,058 千円	7,815 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	犯罪被害者支援事業	直接 補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪被害者支援に関わる広報・啓発活動の経費 ・被害者の経済的、精神的負担軽減に要する経費 ・被害者支援員育成のための研修参加経費 ・NPO法人長野犯罪被害者支援センターの被害者支援事業に対する補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・公費支出制度を運用し、被害者の経済的、精神的負担軽減を図った。（身体犯等被害者診断書料等30万1,281円、性犯罪被害者に対する検査・避妊薬等69万9,695円、カウンセリング等費用34万8,490円、一時避難場所宿泊料3万4,260円、被害者遺体搬送費用106万6,188円、死体検案書料113万3,000円等） ・NPO法人長野犯罪被害者支援センターへの補助金を適正に運用。 	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
15	警察広報・相談活動充実事業	1,514 千円	1,150 千円	8,949 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	警察広報・相談活動充実事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・県警ホームページ運用、広報用イラスト作成等に要する経費 ・県警ホームページ令和5年12月末のアクセス件数857万1,833件（前年より約20万件増加） ・県警シンボルマスコットの新ポーズを12パターン追加し、合計44パターンとなり、活用が広がった。 ・電子メールにより受理する相談件数は、令和5年12月末で1,782件と多くの意見、要望、苦情等を受信し、行政サービスが向上。 	
2	警察音楽隊活動経費	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・県警音楽隊の活動に要する経費 <p>令和5年中は、派遣回数47回、約1万5,040人の聴衆に演奏を披露し、警察広報を実施。</p>	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
16	木曽警察署建設事業	1,111,980 千円	267,895 千円	113,303 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	警察署建設工事	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・外構工事 <p>令和5年度で事業完了</p>	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
17	交番・駐在所再編整備事業	263,616 千円	391,012 千円	447,087 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	交番・駐在所再編整備事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・交番、駐在所庁舎の建設工事 ・庁舎の長寿命化改修 <p>1交番、2駐在所を新築。</p>	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
18	長野南警察署大規模改修事業	292,005 千円	503,096 千円	196,917 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	警察署改修工事	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化及び長寿命化工事 <p>令和5年度で事業完了</p>	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
19	飯田警察署・南信運転免許センター建設事業	- 千円	- 千円	7,238 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	警察署建設工事	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤調査 地盤調査業務完了	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
20	職員宿舍建設事業	85,470 千円	- 千円	- 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	警察宿舍建設工事	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・なし（令和3年度事業完了） 	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
21	警察施設整備事業	605,609 千円	699,728 千円	620,143 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	職員宿舍改修費	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・職員宿舍の修繕 ・住宅供給公社管理委託料 主な職員宿舍修繕（高宮職員宿舍改修工事1棟8戸）	
2	警察庁舎改修費	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・警察庁舎等の修繕 ・交番等へのネットワークカメラ設置経費 交番ネットワークカメラ設置事業（5警察署36交番）	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
22	地域警察強化総合プラン推進事業	229,485 千円	231,824 千円	272,294 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	地域警察官の現場執行力強化	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・交番相談員の経費（95名） ・地域警察官の受傷事故防止資機材の整備等 ・無線中継局回線料等 ・銃器等を使用した犯罪への対策強化のための装備資機材を整備（9月補正） ・人事委員会勧告に伴う会計年度任用職員必要経費（11月補正） <ul style="list-style-type: none"> ・94交番に95名の交番相談員を配置し、来訪者対応等に従事。 ・地域警察官が勤務時に装着する耐刃防護衣等を整備。 ・交番・駐在所等に設置されている無線中継局により、携帯型無線機や高度警察情報通信基盤システム（PⅢ）を効率的に運用。 ・地域警察官の安全対策強化のため、防弾盾と防弾帽等を増強配置。 	

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
23	広域重要犯罪対策事業		57,262 千円	53,295 千円	53,593 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	広域重要犯罪対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪の早期解決に必要な装備資機材の整備、機器電気料等 ・携帯電話通話料、捜査資機材通信回線料等 ・レンタカー借上げ料、システムリース料、訓練施設借用料等 ・銃器等を使用した犯罪への対策強化のための装備資機材を整備（9月補正） 		
			<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪の早期解決に必要な装備資機材を整備。 ・携帯電話等の通信回線を使用し、組織捜査を展開。 ・レンタカー等を借上げ、広域捜査を展開。 ・空き施設・解体前施設等を活用し、訓練を実施。 ・銃器等を使用した犯罪への対策強化のための装備資機材を整備。 		